

◆注意事項

SSC-502S/Pは次のような場所はさけてご使用ください。

- 周囲温度が-10℃以下、50℃以上の場所。
- 湿度が85%以上の場所。
- 温度変化急激で結露する場所。
- 可燃性ガスや腐蝕性ガスのある場所。
- ホコリの多い場所。
- 電池寿命………常時AC電源で動作するので交換は不要と思われませんが交換の場合は4年～5年を目安といたします。
- 振動や衝撃の大きな場所。
- 直射日光や雨の当たる場所。
- 金属やプラスチックに有害な有機溶剤や塩分の多い場所。
- 異常なノイズやサージ電圧のある場所。

※本取扱説明書記載の仕様等につきましては改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

 **スナオ電気株式会社**

本社・工場 静岡県浜松市東区下石田町1495 電話 (053) 421-2281 (代表)
FAX (053) 422-0988

◆製品保証

1. 正常な使用状態による故障についてはお買い上げの日から1年間無償修理いたします。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となります。
 - イ) 試用上の誤り、お客様の改造等による故障
 - ロ) 落下等による破損、故障
 - ハ) その他自然故障以外の故障

カレンダータイマー

デジタル 取扱説明書

SSC-502S/SSC-502P

※電源投入後に \square キーを5秒以上押して
タイマーをリセットしてから操作方法
にしたがってセットしてください。

 **スナオ電気株式会社**

目次

●各部の名称●各部の機能	2ページ
●表示の名称●表示の説明	3ページ
●操作方法	
①モードの切換設定,24時間,パルス,長時間	4ページ
②Err表示	4ページ
③現在時刻の設定	5ページ
④24時間内,毎日同じ動作設定	6ページ
⑤パルス動作設定	7ページ
⑥パルス幅の変更	8ページ
⑦曜日ごとに違う動作設定	9・10ページ
⑧長時間動作設定	11ページ
●仕様	12ページ
●取付方法	12ページ
●外形寸法図	13ページ
●入力,出力端子	14ページ
●参考回路	14ページ
●注意事項	裏表紙

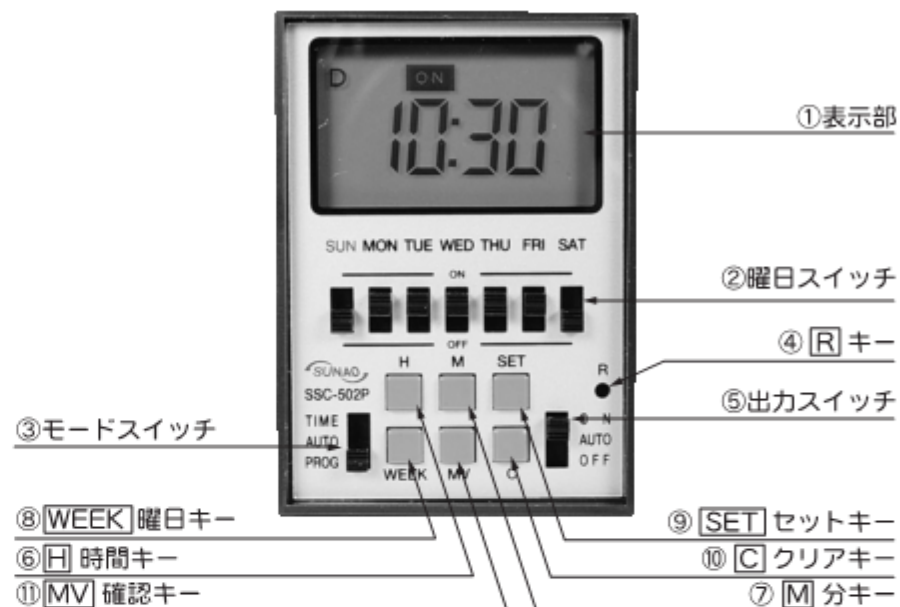
このたびは当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
下記に取り扱い上の重要な事項を列記しましたので内容を十分ご理解の
うえご使用ください。



感電及び機器の損傷防止の為
次の事項を守ってください。

1. 水がかからないようにしてください。又、濡れた手で触らないでください。
2. 元電源には漏電ブレーカ等を必ず使用してください。
3. タイマーの取り付け,修理などの場合は必ず元電源を切ってから行ってください。
4. 購入品の電源電圧と接続する電源電圧を間違いのないことを確認のうえ接続してください。
5. 出力には過大電流が流れないよう仕様に記載の範囲内で接続してください。
6. 前面カバーは取り付けておいてください。

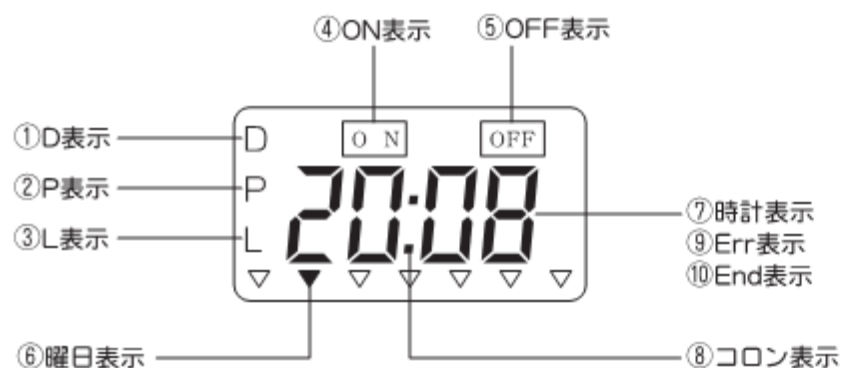
●各部の名称



●各部の機能

- ①表示部……………次のページを参照願います。
 - ②曜日スイッチ……………各曜日に応じて、ON,OFFを設定します。
 - ③モードスイッチ……………・TIME(時計)……………現在時刻の設定と曜日設定を行います。
・AUTO(自動)……………プログラムと曜日スイッチにより自動運転を行います。
・PROG(設定)……………プログラム設定を行います。
 - ④[R]キー……………タイマーリセット及びD/P/Lの切換を行います。
・D(24時間)……………24時間内,毎日同じ動作。
・P(パルス)……………短時間出力のパルス動作。
・L(長時間)……………長時間のタイマー動作。
 - ⑤出力スイッチ……………・ON(手動)……………出力は手動によりON状態を保ちます。
・AUTO(自動)……………プログラムと曜日スイッチにより自動運転を行います。
・OFF(切)……………出力はOFF状態を保ちます。
 - ⑥[H]時間キー……………現在時刻の設定及びプログラム時刻の設定を行います。
 - ⑦[M]分キー……………
 - ⑧[WEEK]曜日キー……………曜日設定を行います。
 - ⑨[SET]セットキー……………設定内容のセットを行います。
 - ⑩[C]クリアキー……………プログラム時刻設定の消去を行います。
 - ⑪[MV]確認キー……………プログラム時刻の確認を行います。
- ※ [H][M][WEEK][MV]の各キーは連続送りができます。(1秒以上押しつづける。)

● 表示の名称



● 表示の説明

- ①D表示 ……24時間内、毎日同じ動作のとき表示します。
- ②P表示 ……短時間出力のパルス動作のとき表示します。
- ③L表示 ……長時間タイマー動作のとき表示します。
- ④ON表示 ……ON設定とON出力のとき表示します。
- ⑤OFF表示 ……OFF設定とOFF出力のとき表示します。
- ⑥曜日表示 ……現在曜日と曜日設定のとき表示します。
 (D(24時間)モードで24:00を超えて設定した場合、曜日表示は、前日の曜日状態で点滅します。OFF時刻を経過した時点で、曜日表示が切替わり点灯となります。)
- ⑦時計表示 ……現在時刻及び確認時プログラム時刻を表示します。
- ⑧コロン表示 ……1秒間隔で点滅します。
- ⑨Err表示 ……プログラム誤設定の場合表示します。
- ⑩End表示 ……プログラムが (D 16動作)
 (P 31動作)
 (L 16動作) を越えた時、表示します。

● 操作方法

1

モードの切換設定.24時間.パルス.長時間

モードスイッチの位置	順序	表示	キー操作
TIME AUTO PROG	1		⑩ 先端の尖ったもので ④になるまで1秒づつ 押します。 (シャープペンシルは使 用しないでください。)
	2		②になるまで1秒づつ 押します。
	3		③になるまで1秒づつ 押します。

- ※・⑩キーを押すと設定済みのプログラムは消去されます。
- ・2秒以上押すと現在時刻及びプログラムは消去されます。

2

Err表示

モードスイッチの位置	表示	プログラム例
TIME AUTO PROG		<p>ON時間帯が重なっている。</p>
		<p>ON時間帯が重なっている。</p>
		<p>ON、OFFペアーで設定されていない。</p>

3

現在時刻の設定

〈操作例〉月曜日 午前8時30分の場合

モードスイッチの位置	順序	表 示	キ ー 操 作
TIME <input type="checkbox"/> AUTO <input type="checkbox"/> PROG <input type="checkbox"/>	1		時計表示部を見ながら [H] キーを押して 8 表示にします。
	2		時計表示部を見ながら [M] キーを押して 30 表示にします。
	3		曜日表示部を見ながら [WEEK] キーを押して MON 表示にして [SET] キーを押してください。
TIME <input type="checkbox"/> AUTO <input checked="" type="checkbox"/> PROG <input type="checkbox"/>	4		現在時刻を表示します。

※内部秒カウンターはSETキーを押した時に“00”よりスタートします。

4

24時間内、毎日同じ動作設定

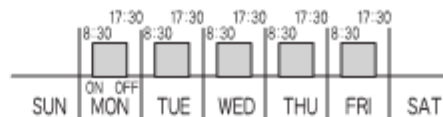
〈操作例〉

月曜日～金曜日、午前8時30分ON～午後5時30分にOFFの場合

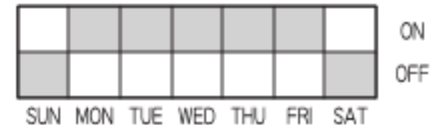
モードスイッチの位置	表 示	Rキー操作
TIME <input type="checkbox"/> AUTO <input type="checkbox"/> PROG <input checked="" type="checkbox"/>		先端の尖ったもので [R] になるまで1秒ずつ押します。

モードスイッチの位置	順序	表 示	キ ー 操 作
TIME <input type="checkbox"/> AUTO <input type="checkbox"/> PROG <input checked="" type="checkbox"/>	1		
	2		時計表示部を見ながら [H] キーを押して 8 表示にし、 [M] キーを押して 30 表示にします。
	3		[SET] キーを押してON時刻が設定されました。
	4		時計表示部を見ながら [H] キーを押して 17 表示にします。 [M] キーを押して 30 表示にします。
	5		[SET] キーを押してOFF時刻が設定されました。 ※プログラム設定が終了したならば [MV] キーによりプログラムの確認をしてください。 ・設定ミス及びプログラム変更の場合は [C] キーを押すと表示した不用の設定が消去します。再度設定しなおしてください。 ・ [SET] キーと [C] キーを同時に押すとすべてのプログラムが消去します。
TIME <input type="checkbox"/> AUTO <input checked="" type="checkbox"/> PROG <input type="checkbox"/>	6		・現在時刻を表示します。 ・Errを表示した場合はプログラムの設定に誤りがあります。P4を参照してください。

●動作パターン



●曜日スイッチ



5

パルス動作設定

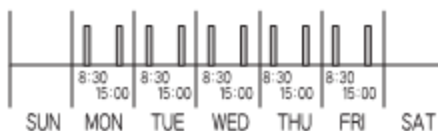
〈操作例〉

月曜日～金曜日までの毎日、午前8時30分と午後3時に1秒間出力の場合

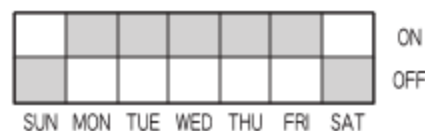
モードスイッチの位置	表 示	Rキー操作
TIME AUTO PROG		先端の尖ったもので[P]になるまで1秒ずつ押します。

モードスイッチの位置	順序	表 示	キ ー 操 作
TIME AUTO PROG	1		
	2		時計表示部を見ながら[H]キーを押して8:表示にし、[M]キーを押して30:表示にします。
	3		[SET]キーを押してON時刻が設定されました。
	4		時計表示部を見ながら[H]キーを押して15:表示します。
	5		[SET]キーを押してON時刻が設定されました。 ※プログラム設定が終了したならば[MV]キーによりプログラムの確認をしてください。 ・設定ミス及びプログラム変更の場合は[C]キーを押すと表示した不用の設定が消去します。再度設定しなおしてください。 ・[SET]キーと[C]キーを同時に押すとすべてのプログラムが消去します。
TIME AUTO PROG	6		現在時刻を表示します。

●動作パターン



●曜日スイッチ



6

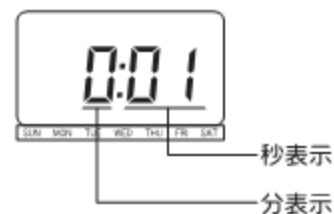
パルス幅の変更 1秒～3分59秒まで設定可能

〈操作例〉 10秒に変更の場合

モードスイッチの位置	表 示	Rキー操作
TIME AUTO PROG		先端の尖ったもので[P]になるまで1秒ずつ押します。

モードスイッチの位置	順序	表 示	キ ー 操 作
TIME AUTO PROG	1		[WEEK] → [H] → [M] の順にキーを押します。設定されているパルス幅が表示されます。
	2		時計表示部を見ながら[WEEK]キーを押して10秒表示にします。 [SET]キーを押してパルス幅が設定されました。 パルス幅の設定が終了したならば[WEEK] → [H] → [M] の順にキーを押して確認をしてください。
TIME AUTO PROG	3		現在時刻を表示します。

※パルス幅の変更のみ時計表示は下図になります。



曜日ごとに違う動作設定

〈操作例〉

月曜日 午前8時ON～午後17時OFF

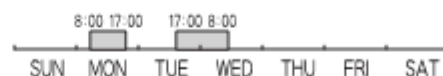
火曜日 午後17時ON～水曜日午前8時OFFの場合

モードスイッチの位置	表示	Rキー操作
TIME AUTO PROG		先露の尖ったものでLになるまで1秒づつ押します。

モードスイッチの位置	順序	表示	キー操作
TIME AUTO PROG	1		
	2		時計表示部を見ながら [H] キーを押して [8] 表示にします。
	3		曜日表示部を見ながら [WEEK] キーを押して [MON] 表示にします。
	4		[SET] キーを押してON時刻が設定されました。
	5		時計表示部を見ながら [H] キーを押して [17] 表示にします。
	6		曜日表示部を見ながら [WEEK] キーを押して [MON] 表示にします。
	7		[SET] キーを押してOFF時刻が設定されました。
	8		時計表示部を見ながら [H] キーを押して [17] 表示にします。

モードスイッチの位置	順序	表示	キー操作
TIME AUTO PROG	9		曜日表示部を見ながら [WEEK] キーを押して [TUE] 表示にします。
	10		[SET] キーを押してON時刻が設定されました。
	11		時計表示部を見ながら [H] キーを押して [8] 表示にします。
	12		曜日表示部を見ながら [WEEK] キーを押して [WED] 表示にします。
	13		[SET] キーを押してOFF時刻が設定されました。 ※プログラム設定が終了したならば [MV] キーによりプログラムの確認をしてください。 ・設定ミス及びプログラム変更の場合は [C] キーを押すと表示した不用の設定が消去します。再度設定しなおしてください。 ・ [SET] キーと [C] キーを同時に押すとすべてのプログラムが消去します。
	14		・現在時刻を表示します。 ・Errを表示した場合はプログラムの設定に誤りがあります。 P4を参照してください。

●動作パターン例



③曜日ごとに違う動作には“曜日スイッチ”は機能しません。

長時間動作設定

〈操作例〉

月曜日の午前8時にON～金曜日の午後5時にOFFの場合

モードスイッチの位置	表示	Rキー操作
TIME		先頭の尖ったものでLになるまで1秒づつ押します。
AUTO		
PROG		

モードスイッチの位置	順序	表示	キー操作
TIME AUTO PROG	1		
	2		時計表示部を見ながら[H]キーを押して8:表示にし、曜日表示部を見ながら[WEEK]キーを押して[MON]表示にします。
	3		[SET]キーを押してON時刻が設定されました。
	4		時計表示部を見ながら[H]キーを押して17:表示にします。曜日表示部を見ながら[WEEK]キーを押して[FRI]表示にします。
	5		[SET]キーを押してOFF時刻が設定されました。 ※プログラム設定が終了したならば[MV]キーによりプログラムの確認をしてください。 ・設定ミス及びプログラム変更の場合は、[C]キーを押すと表示した不用の設定が消えます。再度設定しなおしてください。 ・[SET]キーと[C]キーを同時に押すとすべてのプログラムが消えます。
TIME AUTO PROG	6		<ul style="list-style-type: none"> ・現在時刻を表示します。 ・Errを表示した場合はプログラムの設定に誤りがあります。P4を参照してください。

●動作パターン例



①長時間動作時には“曜日スイッチ”は機能しません。

●仕様

型番	SSC-502S/502P S…壁掛型、P…パネル埋込型
電源電圧	AC100V-200V共用
許容電圧変動範囲	AC85V~AC230V
周波数	50Hz-60Hz共用
停電補償	累積5年間(リチウム電池使用)
使用周囲温度	-10℃~50℃
使用周囲湿度	35%~85%RH
出力	接点出力(1a)
出力定格	抵抗負荷 AC250V 10A
最大許容電流	15A
設定回数	16回、ON、OFF動作又は、31パルス動作
最小設定時間	1分又は、1秒
時間精度	±15秒/月(25℃)
消費電力	約3VA
重量	200g…S型、220g…P型
外形寸法	H108×W50×D68.5…S型、H72×W72×D59.5…P型
パルス幅	1秒~3分59秒(1秒ステップ)

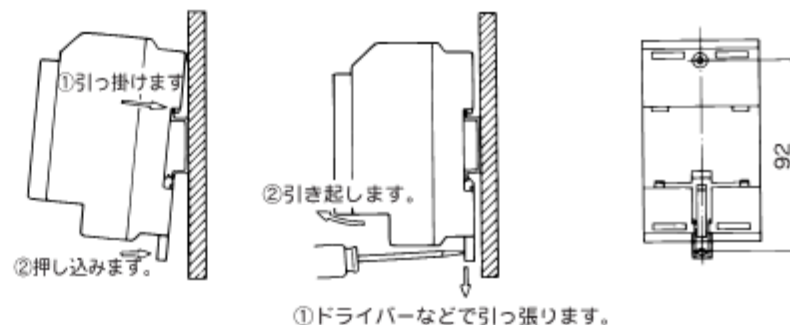
●取付方法

●SSC-502S

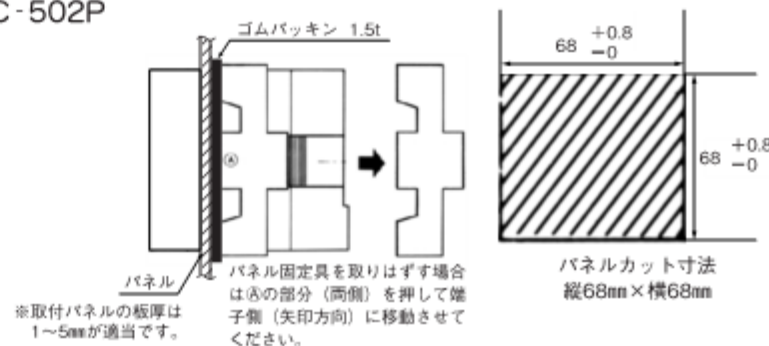
1. DINレール取付(35mm幅)

(取り外し)

2. 単体取付(ねじ取付)

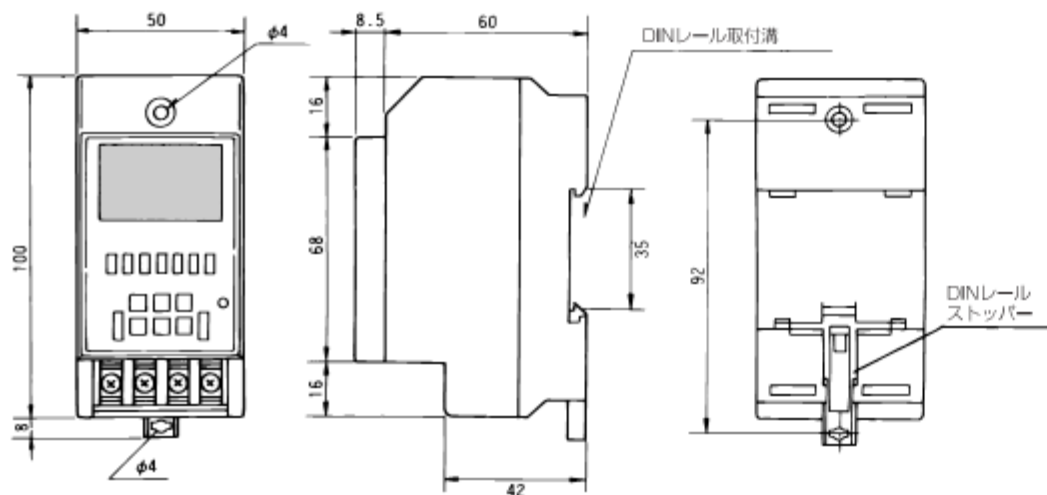


●SSC-502P

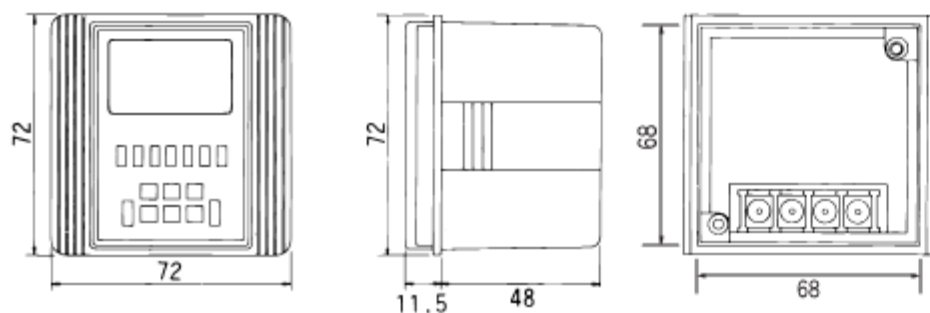


●外形寸法図

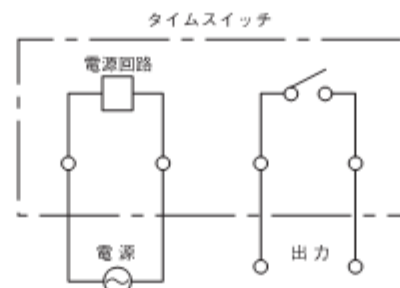
●壁掛型 (SSC-502S)



●パネル埋込型 (SSC-502P)



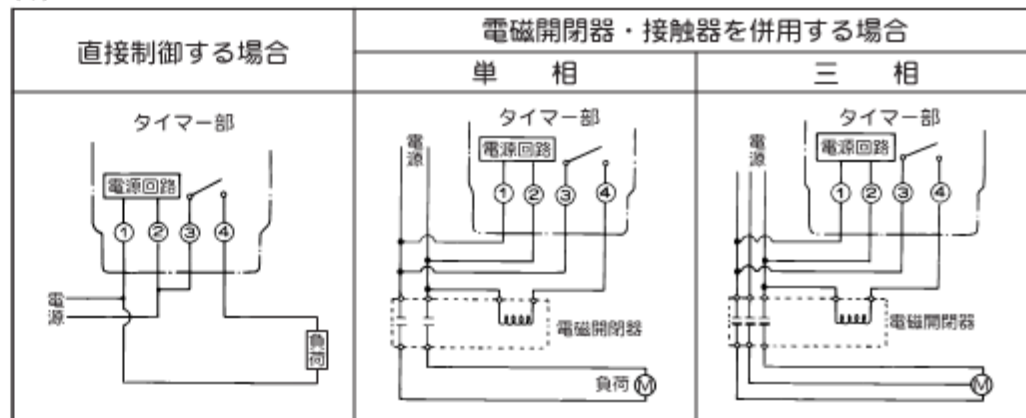
●入力、出力端子



抵抗負荷……………AC250V 10A
 負荷装置の電流容量が大きな場合は
 電磁開閉器を使用してください。

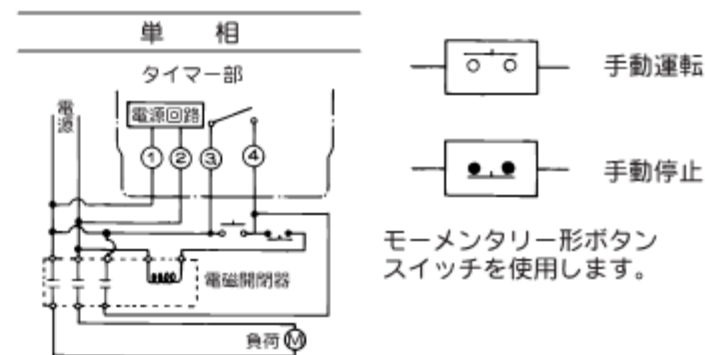
●参考回路

(1)



(2)自己保持回路使用による自動又は手動ON,手動OFFの場合

タイマーはパルス動作とします。
 P.7参照。



注) 抵抗負荷以外の負荷を制御する場合にはタイムスイッチの誤動作・破壊を防止するために、電磁開閉器をご使用のうえ、サージ吸収素子 (R+C) を接続してください。